

1000年先に伝えていく毛呂山の歴史遺産

# 鎌倉街道

## 第1回 毛呂山の鎌倉街道

近年、鎌倉時代や室町時代を取り上げた歴史書が数多く刊行され、「中世」の人物や出来事、史跡に多くの関心が集まっています。

毛呂山町には、毛呂氏の活躍や吉林野合戦の古戦場、山間に残る山城など、中世にまつわる史跡や伝承が特に多く伝わっています。町の東部を通る古道「鎌倉街道」は最も有名な歴史遺産です。

「広報もろやま」では、今年隔月6回にわたって鎌倉街道を取り上げ、毛呂山町に残る鎌倉街道の魅力から、貴重な歴史遺産を子どもたちに伝えていく取り組みについて紹介していきます。

### ①木漏れ日が差す鎌倉街道

歴史民俗資料館の西側を通る鎌倉街道です。左手の林の中には、複数の円墳からなる川角古墳群が広がっています。

道は私たちが生活を送るなかで、なくてはならない存在です。家々の間を通り、町と町をつなぎ、人やモノの行き来に大きな役割を果たす道は、日常の風景の一部となっています。そのため、道を調べることは、町や地域の成り立ちを調べる大きなヒントになります。

毛呂山町には、古代の寺院や山村の地域交流に関わる西部の山間の道や、近世毛呂本郷の町場形成に関わった八王子往還など歴史的な道が残っています。なかでも、町の東部に残る鎌倉街道は、中世の人々の往来や物流、武士たちの合戦、信仰・文化の伝播に大きな役割を果たした道です。

第1回目の今回は、毛呂山町を通る鎌倉街道とその周辺に広がる中世の文化財を紹介します。

#### 毛呂山の鎌倉街道

鎌倉街道は、鎌倉時代初期より鎌倉と関東の諸国、信州、奥州、東海地方を結ぶ主要道路として整備が進められました。このうち毛呂山町を通るのは、鎌倉から武蔵国（現在の埼玉県と東京都の一部）西部を抜け上野国（現在の群馬県）に至る鎌倉街道上道です。

坂戸市森戸から高麗川を渡り、毛呂山町を南北に縦貫する鎌倉街道上道は、市場神社の東を通り、市場・西天久保の大字境を北に抜け、大類グラウンドの脇を進み、鳩山町今宿へと至ります。道路の整備が進み、旧来の姿を留める箇所が少なくなりました。鎌倉街道ですが、毛呂山町内には林の間を通るおおよそ一・五キロメートルの未舗装区間が残っており、武蔵武士たちが駆け抜けた往古の姿をしのばせます。

## 鎌倉街道中世歴史マップ



### ③ 鎌倉街道と越辺川が交わる地点に広がる中世の集落

県立毛呂山特別支援学校と大類グラウンドの下には、鎌倉街道沿いの集落「苦林宿」(堂山下遺跡)が眠っています。遺跡からは、建物跡や井戸、道に沿う溝などが発見されており、越辺川を渡る旅人たちが足を留めたことがうかがえます。



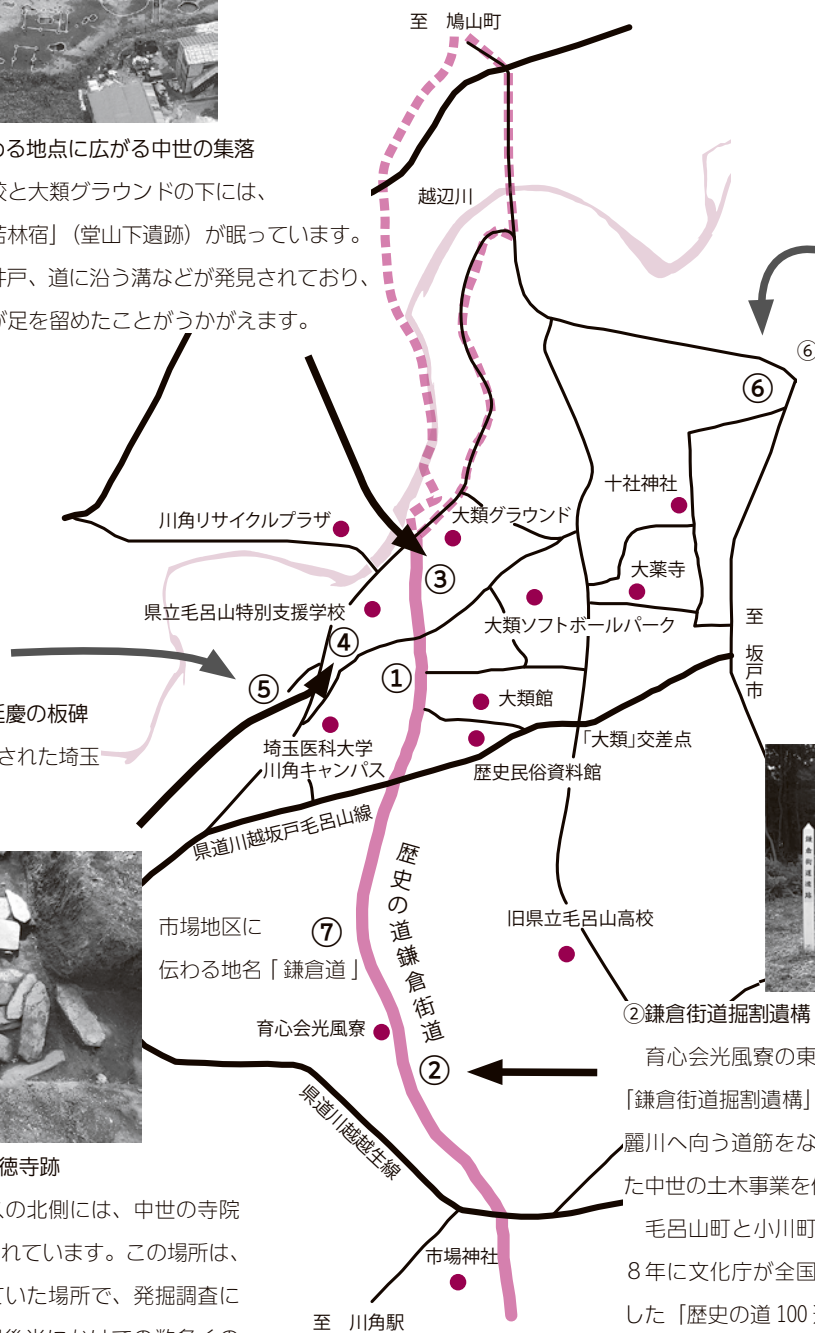
### ⑤ 700年の歴史を伝える延慶の板碑

延慶3年(1310)に建立された埼玉県有数の大板碑です。



### ④ 大量の板碑が出土した崇徳寺跡

埼玉医大川角キャンパスの北側には、中世の寺院「崇徳寺」があったと伝えられています。この場所は、かつて延慶の板碑が立っていた場所で、発掘調査により13世紀末から15世紀後半にかけての数多くの板碑が出土しました。町内で最も多くの板碑が発見された場所です。



### ⑥ 『太平記』に描かれた苦林野合戦

毛呂山町北西部には、南北朝時代に繰り広げられた苦林野合戦の古戦場が広がっています。大類・川角(玉林寺)地区は、合戦で命を落とした武士たちを供養する神社や千手観音の石仏(写真)があり、合戦の記憶を物語ります。



② 鎌倉街道掘割遺構  
育心会光風寮の東側には、毛呂山町を代表する史跡「鎌倉街道掘割遺構」があります。掘割遺構は、南の高麗川へ向う道筋をなだらかな傾斜とするために行われた中世の土木事業を伝える遺跡です。

毛呂山町と小川町・寄居町に残る鎌倉街道は、平成8年に文化庁が全国の歴史的に重要な道路遺跡を選定した「歴史の道100選」に選ばれています(「歴史の道100選」には、東海道や世界遺産に登録されている熊野参詣道などが選ばれています)

鎌倉街道は「屋根の無い博物館」  
中世の道鎌倉街道は、道自体が魅力的な歴史遺産ですが、その道すがらの風景には、中世の集落跡③や埼玉県有数の大板碑⑤、『太平記』に記された古戦場など中世の息吹が今も息づいています。また、鎌倉街道沿いの森林には、6世紀から7世紀にかけて築かれた古墳群や、江戸時代の信仰を示す石造物が伝わっており、中世へとつながる古代、近世の歴史を示しています。

さらに、市場地区に残る「鎌倉道」の地名や苦林野合戦にまつわる地域の伝承といった人の記憶によって伝えられてきた歴史が残るのも毛呂山町の鎌倉街道の特徴です。これらは、この地に暮らした人々が残した「形のない文化財」です。

毛呂山町の鎌倉街道散策は、さながら博物館の展示コーナーをまわり、歴史を学ぶ事にも似ています。若葉芽吹く新緑の時期や晴れやかな秋空の日には、少し足を伸ばし、鎌倉街道という「屋根の無い博物館」を歩いてめぐり、毛呂山町の歴史にぜひふれてみてください。